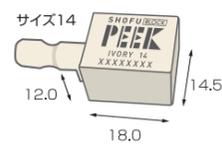


包装・価格



松風ブロック PEEK
 [サイズ] 1種: サイズ14
 [色調] 1色: アイボリー
 5個入……¥28,000

販売名・一般的名称

販売名	一般的名称	承認・認証・届出番号
松風ブロック PEEK	歯科切削加工用レジン材料	管理医療機器 医療機器認証番号 303AGBZX00083A01

関連製品

管理医療機器 認証番号
304AKBZX00039000



歯科レジン接着材料
CAD/CAM レジン用
アドヒーシブ
5mL……¥8,400

管理医療機器 認証番号
304AKBZX00032000



歯科接着用レジンセメント
ビューティリンクSA
9mL……¥12,000

管理医療機器 認証番号
302AKBZX00026000



歯科用象牙質接着材
ビューティボンド
Xtrema
1セット……¥16,000
トリプルパック……¥38,000

一般医療機器 届出番号
26B1X00004000134



歯科技工用カーバイド切削器具
松風技工用カーバイドバー
アジャストカーバ PB
1本……¥3,900
Sクラス1本……¥3,200

一般医療機器 届出番号
26B1X00004000102



歯科用研削器材
松風カーボランダムポイント
12本入……¥1,500
[種類] HP, CA, FG

一般医療機器 届出番号
26B3X00014000001



歯科用ゴム製研磨材
松風シリコンポイント Pタイプ
HP PB
12本入……¥1,750

一般医療機器 届出番号
26B1X00004000148



歯科用研磨器材
デュラポリッシュ ダイヤ
5g……¥4,800

一般医療機器 届出番号
26B3X00014000001



歯科用ゴム製研磨材
松風シリコンポイント
Mタイプ CA M2
12本入……¥1,750

一般医療機器 届出番号
26B3X00014000012



歯科用ゴム製研磨材
コンボマスター
3本入 (No.28のみ4本入り)
……¥2,900

一般医療機器 届出番号
26B1X00004000245



歯科用研削器材
松風CAD/CAMミリングバー
BE (1本)……¥9,000

管理医療機器 認証番号
223AKBZX00235000



歯科レジン系補綴物表面滑沢硬化材
レジングレイズ リキッド
6mL……¥3,700

ご使用の際は電子添文等をよく読んでお使いください。

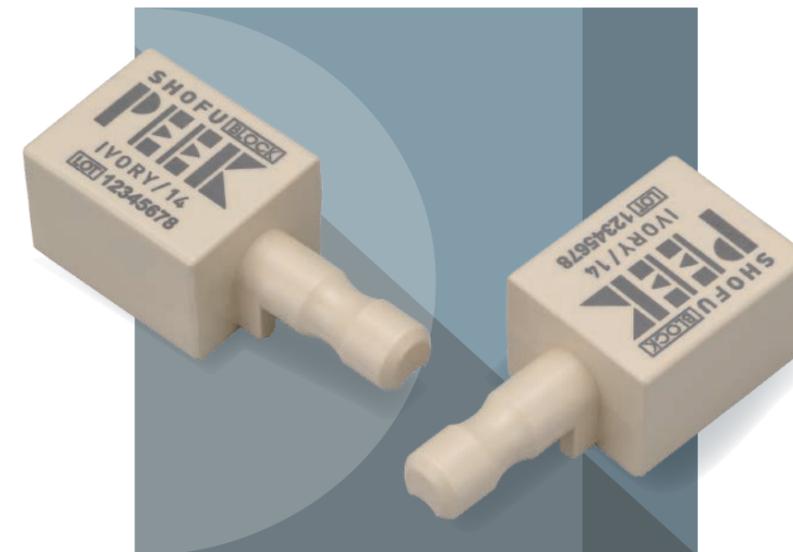
価格は2024年5月現在の標準医院価格(消費税抜き)です。

取扱い店



CAD/CAM冠用材料(V) 健保適用

松風ブロック PEEK Q&A



SHOFU BLOCK
PEEK



世界の歯科医療に貢献する

株式会社 松風

本社:〒605-0983京都市東山区福福上高松町11 お客様サポート窓口(075)778-5482 受付時間8:30~12:00 12:45~17:00(土日祝除く) www.shofu.co.jp
 支社:東京(03)3832-4366 ●営業所:札幌(011)232-1114/仙台(022)713-9301/名古屋(052)709-7688/京都(075)757-6968/大阪(06)6330-4182/福岡(092)472-7595

SHOFU INC.

接着

- Q** PEEK 冠への内面処理にシランカップリング材は使えるか。
- A** PEEK に含まれる無機質フィラーはシリカと異なるため、シランカップリング材では十分な接着強さが得られません。樹脂成分に対しすぐれた濡れ性を有し、高い接着強さを発現する「CAD/CAM レジン用アドヒーズ」をご使用ください。 ※松風の歯科レジン用接着材料です。(カタログ裏面参照)
-
- Q** 「CAD/CAM レジン用アドヒーズ」はどのような機構で接着するのか。
- A** 「CAD/CAM レジン用アドヒーズ」に含まれるレジン成分は PEEK に対し極めて高い親和性を有し、サンドブラストした表面の隅々まで広がって良く馴染みます。この馴染みの良さで塗布面への光照射によって接着強さを発揮し、強固なボンド層を形成します。
-
- Q** 「CAD/CAM レジン用アドヒーズ」の塗布後のエアードライの目安は。
- A** 塗布面が動かなくなるまで弱圧で乾燥してください。
-
- Q** PEEK は曲げ弾性率が低くたわむため、接着性に問題はないか。
- A** 弊社推奨の接着システムを用いれば接着性に影響しないことを確認しています。サンドブラスト処理、PEEK 冠内面処理:CAD/CAM レジン用アドヒーズ、接着性レジンセメント:ビューティリンク SA (レジセム EX)、支台歯処理:ビューティボンド Xtreme の組み合わせを推奨しています。PEEK は遮蔽性が高い補綴装置のため、マージン部への光照射後に 5 分間の圧接保持を行なって下さい。PEEK は他の CAD/CAM 冠に比べ曲げ弾性率が低く、よくたわむ材料ですが、セメント層を破壊して脱離を起こすような現象はこれまでの臨床評価では確認されておりません。
-
- Q** 試適後の処理に唾液やタンパク質等の汚染物質を除去するクリーナーなどを使用しても影響はないか。
- A** PEEK を変質・染色することなく、唾液・タンパク質を除去できることを確認しています。
-
- Q** PEEK に超音波スケーラーは使用可能か。PEEK についたセメントを超音波スケーラーで除去は可能か。
- A** スケーラー先端による物理的な傷や、熱の発生による溶解のリスクがあるため、超音波スケーラーの使用は避けてください。
-
- Q** 「CAD/CAM レジン用アドヒーズ」カタログ記載の「29.7MPa」の接着強さの試験方法は。
- A** PEEK 試験体と SUS 棒を用いた「せん断接着試験」にて評価しています。(自社試験結果)
-
- Q** 「CAD/CAM レジン用アドヒーズ」の被膜厚さは。
- A** CAD/CAM レジン用アドヒーズ: 5 ~ 10 μ m
(参考 ビューティリンク SA: 14 μ m、ビューティボンド Xtreme: 5 μ m) ※全て代表値

- Q** 「CAD/CAM レジン用アドヒーズ」の容量について、大臼歯に対する使用可能回数は。
- A** 約 190 回 (一症例当たり一滴)
-
- Q** PEEK 冠を仮着する場合、「ハイ - ボンド テンポラリーセメント」は使用できるか。また、仮着時に内面処理で注意することはあるか。
- A** 内面処理の有無に関わらず、「ハイ - ボンド テンポラリーセメント」のソフト・ハードどちらでも使用に問題ありません。長期的に仮着をする場合は、内面処理 (アルミナサンドブラスト処理) を行い「IP テンプレメント」の使用を推奨いたします。PEEK 冠内面にセメント層が残存することを気にされる場合は、内面処理を行わず「ハイ - ボンド テンポラリーセメント」のソフトをお勧めします。
-
- Q** 松風推奨のシステムで接着したにも関わらず、PEEK 冠が脱離した場合どのような原因が考えられるか。
- A** 症例によりませんが、被着面への唾液等の汚染、PEEK 冠と支台歯の適合性の不良、咬合異常 (ブラキシズム等)、クラウンの厚み不足等が考えられます。
お問い合わせいただく際は上記以外に ①セメントが支台歯 / PEEK 冠のどちらに残存しているか ②使用材料 ③使用方法 ④装着から脱離までの期間についてもご確認ください。

サンドブラスト

- Q** 内面にサンドブラスト処理は必須か。
- A** CAD/CAM 冠用材料 (V) の保険適用必須要件です。アルミナサンドブラスト処理をしないと接着強さは半分程度になり、脱離の可能性が高くなります。
-
- Q** CAD/CAM 冠は試適後に、再度サンドブラスト処理をしないと接着力が落ちると言われることがあるが、PEEK 冠は試適後のサンドブラスト処理は不要か。
- A** 歯科医院にて試適後のサンドブラスト処理を推奨します。
-
- Q** サンドブラスト処理の推奨ゲージ圧は。
- A** 0.2 ~ 0.3MPa が適切です。
-
- Q** サンドブラスト処理に用いるアルミナ粒子の推奨サイズは。
- A** 平均粒径 50 ~ 75 μ m のアルミナ粒子を推奨します。粒径が細かすぎると接着力の低下、粗すぎると過度の面荒れにつながります。



Q サンドブラスト処理の際に、PEEK 冠の内面が黒く変色した原因は。

A アルミナの種類によっては PEEK 冠内面が黒変する場合があります。黒変の原因はサンドブラスト処理による、面性状の変化やアルミナの残留物が影響していると考えられます。

Q 黒変した場合の除去方法は。

A 歯面清掃器「メルサージュ エピック 2in1」などで、除去が可能です。弊社取り扱いの「フラッシュパール」「ペリオメイトパウダー」の両製品を使用した場合でも接着強さへの影響がないことを確認済みです。ただしパウダーの当てすぎにより適合などに影響する場合がありますのでご注意ください。バーで削り取ることも可能ですが、再度サンドブラスト処理が必要なため現実的ではありません。スチームクリーナーをご使用いただいても除去可能です。

Q 黒変した場合、リン酸エッチングで除去可能か。

A 黒変はリン酸エッチングで除去はできませんが、黒変の色は多少薄くなります。

Q 黒変したまま接着すると接着強さは低下するか。

A 接着強さに影響はありません。アルミナが残留している場合は、超音波洗浄器で洗浄してください。

築 盛

Q PEEK 冠に歯冠用硬質レジン「ソリデックスハーデュラ」や「セラマージュ DUO」などの築盛は可能か。

A 長期的な使用では脱離するリスクがあります。築盛する場合はサンドブラスト処理 → セラレジンボンド I & II 塗布 → 光照射 → (プレ) オペーカー塗布 → レジン築盛の順で築盛ください。

Q レジン材料の築盛を行なった場合や表面滑沢材を用いた場合でも保険適用となるか。

A PEEK 冠自体は所定の保険点数が算定可能です。ただしレジン材料の築盛や表面滑沢材の使用に対して保険点数加算はありません。

Q 表面滑沢材を使用した場合の耐久性は。

A あくまでも暫間的処置のため、明示できるデータはありませんが、表面滑沢材「レジングレーズ リキッド」の場合、1～数カ月程度艶を維持しているケースはあります。(サンドブラスト処理、「レジングレーズプライマー」の使用が必須となりますが、「レジングレーズ ジェル」も使用可能です。その場合もサンドブラスト処理、レジングレーズプライマーの使用が必須です。)

Q 表面滑沢材を使用する場合、サンドブラスト処理は必要か。

A 「レジングレーズ リキッド」を使用する場合はサンドブラスト処理は不要です。「レジングレーズ ジェル」は必須です。

Q 表面滑沢材を使用する場合、PEEK 冠の研磨程度は。

A 中仕上げ後に塗布してください。

Q 表面滑沢材が剥がれた場合の処置は。

A 手研磨にて再研磨してください。

Q レジン材料用着色材「ライトアート」は使用可能か。

A 接着耐久性の観点より、お勧めしません。

Q PEEK 冠に常温重合レジン築盛は可能か。

A 接着耐久性の観点より、お勧めしません。

Q PEEK 冠にハイブリッドレジンなどを築盛した場合、加熱重合することは可能か。

A 加熱重合することは出来ません。



研削・研磨

- Q** 口腔外でエアタービンを使って切削する場合の適切な FG バーは。
- A** エアタービンでの切削は切削面が溶けてがたつくためお勧めしません。CA バーを回転速度 10,000 以下にてご使用ください。
-
- Q** PEEK 冠を除去する際の推奨バーは。
- A** 「ジェットカーバイドバー FG」のリムーバル、または「ジェットカーバイドバー FG」のクロスカットタイプを推奨します。「松風ダイヤモンドポイント FG」でも可能です。
-
- Q** 咬合調整に推奨するバーは。
- A** 「松風カーボランダムポイント (CA)」を推奨します。「松風ホワイトポイント (CA)」でも可能です。
-
- Q** PEEK は熱可塑性樹脂であるが、研磨時の熱で溶けることはありえるか。
- A** 使用する研削・研磨材の種類、高速回転により溶ける可能性はあります。回転速度は $10,000\text{min}^{-1}$ 以下での使用を推奨します。
-
- Q** PEEK 冠に PMTC 用のペーストは使用可能か。
- A** PMTC 用ペーストは歯質の研磨に用いるのが目的のため、PEEK 冠の研磨には使用できません。「コンポマスター CA」または「PRG コンポグロス キット」を推奨します。
-
- Q** 「メルサージュ エピック 2in1」などの歯面清掃器で、パウダーを PEEK 冠に当てると艶は消えるか。
- A** 艶は消えます。

その他

- Q** X 線造影性はあるか。
- A** X 線造影性はありません。
- Q** PEEK のインレーで保険算定は可能か。
- A** 保険算定は不可です。
-
- Q** PEEK にチューインガムは付着するか。付着した場合の除去方法は。
- A** チューインガムの種類によっては付着します。歯ブラシで除去が困難な場合は、ペーパータオルや布などで拭うと除去できます。それでも除去が困難な場合は、研磨にて除去してください。
※ガムが付着する可能性があることをアナウンスお願いいたします。

- Q** PEEK 冠が割れた症例はあるか。
- A** 臨床評価 2 年の中で割れた症例はありません。
- Q** 大学等での臨床評価はどれくらいの期間か。
- A** 2 年間です。(2023 年 12 月時点)
-
- Q** レストやレスト座に使用可能か。
- A** PEEK によるレスト、またはレスト座については、臨床評価のエビデンスがありません。
-
- Q** PEEK 冠の耐用年数 (寿命) は。
- A** 臨床評価実績では 2 年以上です。(2023 年 12 月時点)
-
- Q** コンポジットレジンや従来の CAD/CAM 冠と比較し、着色性は。
- A** コンポジットレジンや従来の CAD/CAM 冠と比較し、耐着色性にすぐれています。(当社製品比)
-
- Q** 口腔内でのリペア方法は。
- A** PEEK 冠への接着は、サンドブラスト処理が必須です。このため、口腔内でのサンドブラスト処理、および適切な接着操作を行える場合に限ってリペア可能です。手順は P3：築盛の項目をご参照ください。
-
- Q** PEEK にアルコールが付着した際の劣化などの影響は。
- A** 短時間の接触では劣化などの影響はありません。
-
- Q** PEEK の自己摩耗および対合歯摩耗はどの程度か。
- A** 当社内で衝突回転摩耗試験を実施した結果、咬合による自己摩耗については松風ブロック HC スーパーハード $32.2\mu\text{m}$ に対し、松風ブロック PEEK は $36.7\mu\text{m}$ とやや多くなります。一方、対合歯摩耗量は、松風ブロック HC スーパーハード $80.4\mu\text{m}$ に対し、PEEK は $1.9\mu\text{m}$ と非常に少ないレベルです。
-
- Q** 他社加工機で切削は可能か。
- A** 取り扱いメーカーにお問合せください。
-
- Q** 一歯あたりの加工時間は。
- A** クラウンの形態や加工機により異なりますが、約 50 分です。(MD-500S での加工)